

新型コロナウイルス感染症の収束がまだまだ見えてきません。制限された生活も長く、多くのストレスを抱えて過ごしている人も多いことと思います。そのストレスが SNS での誹謗中傷やワクチン摂取の不当差別につながってしまう場合もありますが、こんなときこそ人権意識をより強く持つことが大切になります。コロナで苦しんでいるのは自分だけではありません。今この瞬間でも戦っている患者さんや尽力している医療従事者がいます。自分のことだけでよいのか？自分に問いかけ人のことを思い想像する人権感覚を今こそ持っていただきたいと思います。有事だからこそ、人権意識が求められます。私どもも継続して人権の大切さを訴えていきます。



## 新型コロナワクチンの接種に関連した不当な差別はやめましょう

64歳以下の方が主な対象となる、新型コロナワクチンの職域接種(企業や大学などが社員や学生を対象に実施)が今年6月から始まり、本県でも実施事例が増えています。国は新型コロナワクチンの接種を勧めています、けっして強制ではありません。本人が予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思と判断で接種を受けるのが原則です。そのため、本人の同意なしに接種はできません。厚労省は、職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりしないよう呼びかけています。

しかし、特に職場や学校で一斉に予防接種が行われるような場合、「強制ではない」と言っても、「ワクチンを接種しなければならない」という無言の圧力を感じてしまう恐れがあります。さらに、職場においてワクチン接種を社員に義務づけて、ワクチン接種を拒否した社員の出勤を拒否する、ワクチン接種をしていない社員だけを在宅勤務にするなどの取り扱いをする企業が出てくる可能性もあります。

しかし、そのような取り扱いは、ワクチン接種が強制ではない以上、許されません。学校においても、「ワクチンを接種しない生徒には、学生の授業への出席を認めない」等の措置をとることも考えられますが、そのような取り扱いは法律上からも無効です。「ワクチン接種をしていない方への差別的行為は人権を侵害する行為です。ワクチン接種は本人の意思に基づくものであり、病気など様々な理由でワクチンを接種できない方もいらっしゃいます。接種をされていない方に対する接種の強制はしないようにしましょう。そうしたことを防ぐための取組として、例えば鳥取県では「新型コロナウイルスワクチン接種に関する差別的行為は絶対にやめましょう！」と題した啓発チラシを作り、次のように県民に呼びかけています。

ワクチン接種をしていない方に対する差別的行為は行わず、地域全体で温かく包み込むように支えましょう。」と訴えています。本県の行政機関は全般的にワクチン接種の推奨については熱心ですが、それと併せて「ワクチン接種に関する差別的な行為は許されない」ことを、もっとしっかり周知していくことが望まれます。

また、PCR検査や抗原検査など感染の有無を調べる検査を、必要に応じて速やかに身近な地域で受けられる体制の整備も大切だと思えます。

### <特に留意すべき点>

- ☆職場や学校などで、ワクチン接種の有無を不用意にたずねないこと(答える義務も無し)  
(※職域接種を行う場合、(未)接種者に係る情報は接種担当部署以外に漏らさないこと)
- ☆行事や活動等において、ワクチンの接種の有無による区別がないように留意すること

## 活動報告

- 人権移動教室** 9月18日(土)、甲斐市立双葉東小学校において人権移動教室を開催しました。
- 人権啓発パネル展** 9月13日(月)～9月26日(日)、甲府市東公民館、甲府市西公民館、甲府市北東公民館において、「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しています。

## 今後の予定

- 人権移動教室** 9月24日(金) 甲府市立大田小学校、10月5日(火) 甲府市立国母小学校、10月20日(水) 甲府市立上条中学校、甲府市立新紺屋小学校、
- 人権啓発講演会** 10月19日(火)、甲府市庁舎

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

<協賛>  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲斐市立玉幡小学校 (六年生男子)

今日、人権の勉強を、通して、たくさんのことかしのたので、よかったです。人権の意味、命と幸せを守るけんりということをし、教えていただきました。MSFというボランティアだんたいは、あらゆる災害にしんを、するたために、海外へ行き、命かけてしんしているということかゆかりました。ルワンダでは、道ばたにたくさんのが死んでしまいました。八百万人中一百人のが殺されてしまいました。一人一人顔か、ちかうように

考えもちがうからめごとかおきてしまう。なので相手のことを、思うということをし、あらためて、しりました。幸せになるには、人を大切にする。一番むずかしいことは、自分をふり返れることしいうことかわかったのでよかったです。これから、相手のことを思う気持ちを、わすれずにしていきます。

甲斐市立玉幡小学校 (六年生男子)

今日、人権のことについて話を聞きました。一番最初人権といわれてもよくわからなくて杉藤先生に「人権は命と幸せを守る権利のこと」と言われて意味を初めて知りました。世界には約七十六億の顔と考えがあると聞いてたくさんのがいると知ってその中の人を大切にすることか人権だということか分かりました。その人たちを大切にすることかには練習しなるといけないと聞いてこれからそういう場面があるときに席をゆずったりしたくなると思います。でも最近自分のことしか考えな人が増えていろいろソクです。ぼくはそういう人が増えないようになるべく友達や知っている人に声をかけたいと思います。人を大事にする大切を今回の授業でたくさん学びました。いつもいろいろなことかできるのはいろいろなかささえてくれたりしていろいろなことかなんだなと思います。今日の授業で人権のことをよく知れました。今日知ったことをこれから生かしていろいろと思ひました。